

中高

第4次中期計画ビジョン

「つながる力で人を育てる」

戦略分野	行動目標	KGI	アクションプラン
1.連携活動の強化	1 金井学園内連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> ◎中高大専の教育連携プログラムの完成 ◎中高大専で教育のノウハウを共有するためのシステムの構築 ◎クラブ活動における連携育成プログラムの完成 ◎中高大専で統一した生徒情報一元管理システムの構築 ◎保護者との協働キャリアプログラムの完成 	<ul style="list-style-type: none"> ◎中高の所属を超えた抜本的組織改革の推進 ◎中高の人材交流の促進 ◎設置校で連携を取り、魅力あるグローバル事業を推進 ◎大学までの選抜一貫コースの確立 ◎福井工業大学と連携を深めた先取り履修の実施(大学を3年で卒業など) ◎実績向上のための戦略を立てるための中高大クラブ指導者定例会議 ◎教職員間のコミュニケーションを充実にする取り組み ◎保護者の協力によるキャリア教育を推進
	2 地域社会連携活動の強化	<ul style="list-style-type: none"> ◎福井工業大学以外(主に県内)の大学との連携数 3件 ◎同種校との連携を図った教育活動実施数 12件 ◎地域企業と連携を図った教育活動の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ◎生徒会主導による近隣住民との交流 ◎有名私大とのつながりによる連携 ◎地元国公立大学との連携(探究活動等) ◎中学校→小学生、高校→中学生を招きイベントの開催 ◎設置校間で地域連携事業を企画
	3 海外との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ◎海外派遣事業への在学生・教職員の参加率向上 ◎姉妹校を増やし、留学先を拡大 ◎デュアルディプロマプログラムの推進 ◎海外への派遣学生・教職員および海外からの来学外国人学生・教職員数 年間120名 	<ul style="list-style-type: none"> ◎福井中高の実用英語技能検定上位級合格者を増やす取り組み(英語力成長の可視化) ◎英語によるプレゼン大会(スピーチコンテスト)の開催 ◎教職員海外研修を増やす ◎リモート授業を活用した姉妹校との合同授業
	4 同窓会組織との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ◎幹事学年の同窓生と卒業する生徒の翌年度同窓会参加率50% ◎同窓会組織の基盤を構築 ◎在校生とOG・OBとの交流プログラムの完成 	<ul style="list-style-type: none"> ◎同窓会のイベント化 ◎福井県内企業に対して案内送信 ◎同窓会組織の先進校を視察 ◎同窓会案内など、効果的な広報をするための戦略チームを結成
2.教育力・研究力の向上	1 教育基盤構築による教育の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ◎授業評価アンケートの各設問平均評価4.0を達成(中高)※5点満点 ◎進学実績の向上 (東京大学を始めとする難関10大学の合格者数10名 国公立大学合格者数70名突破) ◎ルーブリック評価での生徒の自己評価の平均7.5を達成※10点満点 ◎中高一貫教育による難関大学合格実績の向上 ◎生徒のキャリアデザインプログラムの完成 	<ul style="list-style-type: none"> ◎授業評価アンケートの見直し(中身や実施回数) ◎生徒が目標を達成するためのカリキュラムの作成 ◎生徒の個人端末(一人一台)使用に向けた環境整備 ◎WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)拠点校となるための取り組み ◎常勤授業率を80%にするための施策 ◎各教科での入試に向けた知識や情報を共有する時間の確保 ◎新入教員だけではなく、全世代に対する研修の充実 ◎タブレットを活用したシームレスな生徒管理の実現 ◎学校横断型の探究活動の実施(専&高)(中&高)(中&大)(高&本部)…etc ◎生成AIを活用した教育活動の展開

中高

第4次中期計画ビジョン

「つながる力で人を育てる」

戦略分野	行動目標	KGI	アクションプラン
3.環境・体制の創出	1 共有環境の整備(生徒と教職員が共に学ぶための環境を整備)	<ul style="list-style-type: none"> ◎学校評価アンケート生徒・保護者の満足度90% ◎常勤教員の教科担当授業時数平均14時間を実現 (総合や特別活動を除く) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎魅力ある教育施設の増改築、及び学習環境の完備 ◎4学期制導入の検討 ◎部活動の精査(生徒からのニーズが少ない部活動の精査) ◎設置校内での実験施設・実験機器の共同利用促進 ◎学生寮の整備(計画確認、学生数に対する寮数割合の目標値確認) ◎校内整備(教室・廊下・職員室・生徒指導室・各教科部屋)と生徒安全性の向上 ◎教職希望者に対する支援体制の検討 ◎教職員がリフレッシュするための取り組み
	2 ワークライフバランスの実現	<ul style="list-style-type: none"> ◎学校評価アンケート教職員満足度 80% ◎離職率の減少(世代別) ◎業務のマニュアル化と精査 (整備率を出して数値目標を設定) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎安心して働くことのできる環境の構築(福利の可視化の促進) ◎教職員業務の精査及び改善 ◎業務負担改善のための見直し ◎ハラスメント防止のためのヒアリングを実施 ◎世代別、役職別研修と相談窓口の設置
4.ブランドの確立	1 入試広報の強化	<ul style="list-style-type: none"> ◎福井中高 定員数の確保と受験者の基礎学力レベルの向上 ◎受験者数、OC参加者数の増員 	<ul style="list-style-type: none"> ◎魅力的な生徒募集イベントによりオープンキャンパス、学校説明会の参加者受験率70%以上 ◎特待生奨学金の在り方を再検討し、投資対効果を向上させる ◎公立学校との差別化を図った学校行事の企画実施 ◎学校内の取り組みを速やかに発信するシステムを構築する ◎受験生を対象とした入試対策講座を開設